

現状とこれまでの主な取組

※ 内は、生き活き指標の目標

【学力向上】

〈現状〉

◆全国学力・学習状況調査の全国順位 小学校:10位以内、中学校10位以内

小学校:⑳25位→㉑19位→㉒31位 中学校:㉓41位→㉔34位→㉕40位

◆授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 小学校:71.0% 中学校:70.0%

小学校:㉖68.6%(全国62.5%)→㉗71.0%(全国64.4%)→㉘72.7%(全国64.4%)

中学校:㉙57.2%(全国67.9%)→㉚59.2%(全国69.6%)→㉛60.4%(全国70.6%)

〈これまでの主な取組〉

【授業改善】小中学校に授業改革推進リーダー・推進員を配置、県の指導主事の継続的な派遣

【補充学習の充実】小中学校に地域人材等を支援員として配置

【家庭学習習慣の定着】PTA等と連携したキャンペーンの実施

【長期欠席・不登校対策】

〈現状〉

◆不登校出現率

小学校㉜0.45%(全国0.39%)→㉝0.46%(全国0.42%)→㉞0.51%(全国0.47%)

中学校㉟2.76%(全国2.76%)→㊱2.49%(全国2.83%)→㊲2.47%(全国3.01%)

〈これまでの主な取組〉

【重点的支援】小中学校にSC及びSSWを配置

【早期対応】小学校に登校支援員を配置、医療と連携した対策の研究

【未然防止】小学校に生徒指導専任リーダーを配置し、組織的な対応を推進

【おokayama創生を担う人材の育成】

〈現状〉

◆県外へ進学した若者のUターン就職率(平成29年度卒業生 大学の所在地域別)

関東:21.0% 近畿:30.7% 中国・四国:51.7%

〈これまでの主な取組〉

【地域への愛着心の醸成】行政やNPO等が行うまちづくりの活動へ中高生が参画

【地元貢献意識の醸成】高校における「地域学」の実施、地域産業の担い手の育成

【魅力ある地元企業の発見】県立普通科等高校生対象の企業体験バスツアー等の実施

【グローバル人材の育成】

〈現状〉

◆海外の学校と姉妹校提携を締結している県立高等学校数 20校

㉟8校→㊱8校→㊲11校

◆県内高校生の留学者数

㉟246人→㊱243人→㊲308人

◆英検準1級以上等を取得している英語担当教員の割合 中学校 50.0% 高校75.0%

中学校㉟23.1%(全国30.2%)→㊱29.4%(全国32.0%)→㊲28.5%(全国33.6%)

高校 ㉟55.6%(全国57.3%)→㊱60.2%(全国62.2%)→㊲76.9%(全国65.4%)

〈これまでの主な取組〉

【高校生の留学促進】留学経費の支援、留学コーディネーターによる海外姉妹校提携の拡大

【教員の英語力・英語指導力の向上】英会話スクールなど民間の力を活用した研修の実施